

5 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 平成24年の区内刑法犯認知件数が1万件を下回ったことの認知
 - (3) 居住地域の治安状況
 - (4) 区内の治安が良いと感じる点
 - (5) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (7) 駐輪時の鍵かけ状況
-

5. ビューティフル・ウィンドウズ運動

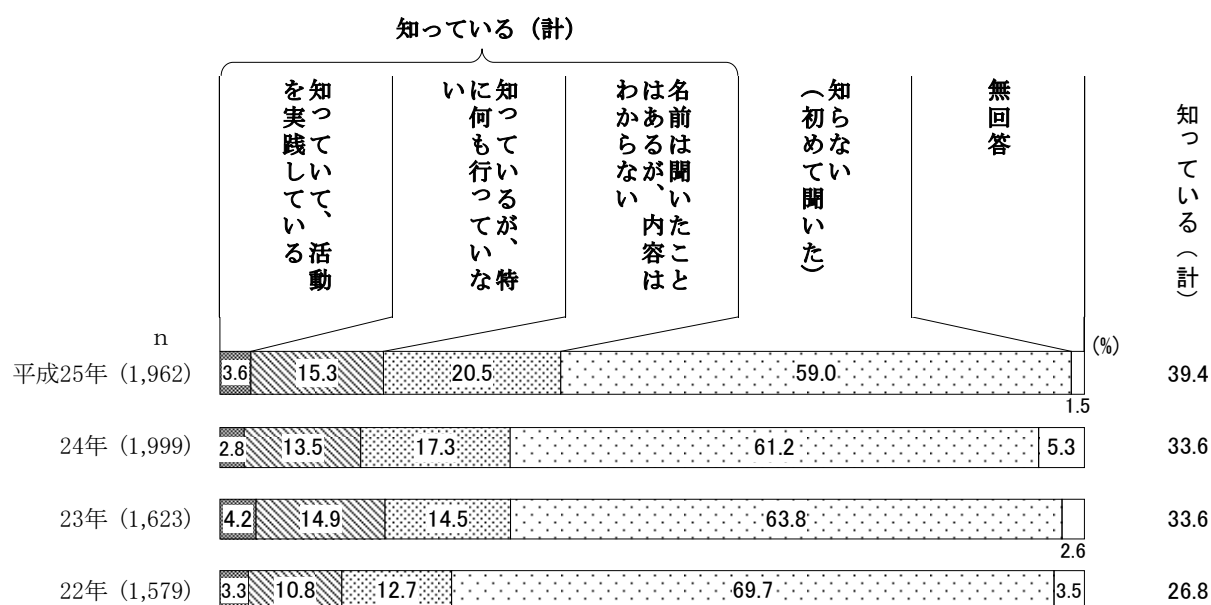
(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■ 【知っている】は約4割で、認知度は年々上昇している

問19 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか。（○は1つだけ）

※ 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図5-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は3.6%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」（15.3%）、「名前はあるが聞いたことがない」（20.5%）を合わせた【知っている】は39.4%となっている。

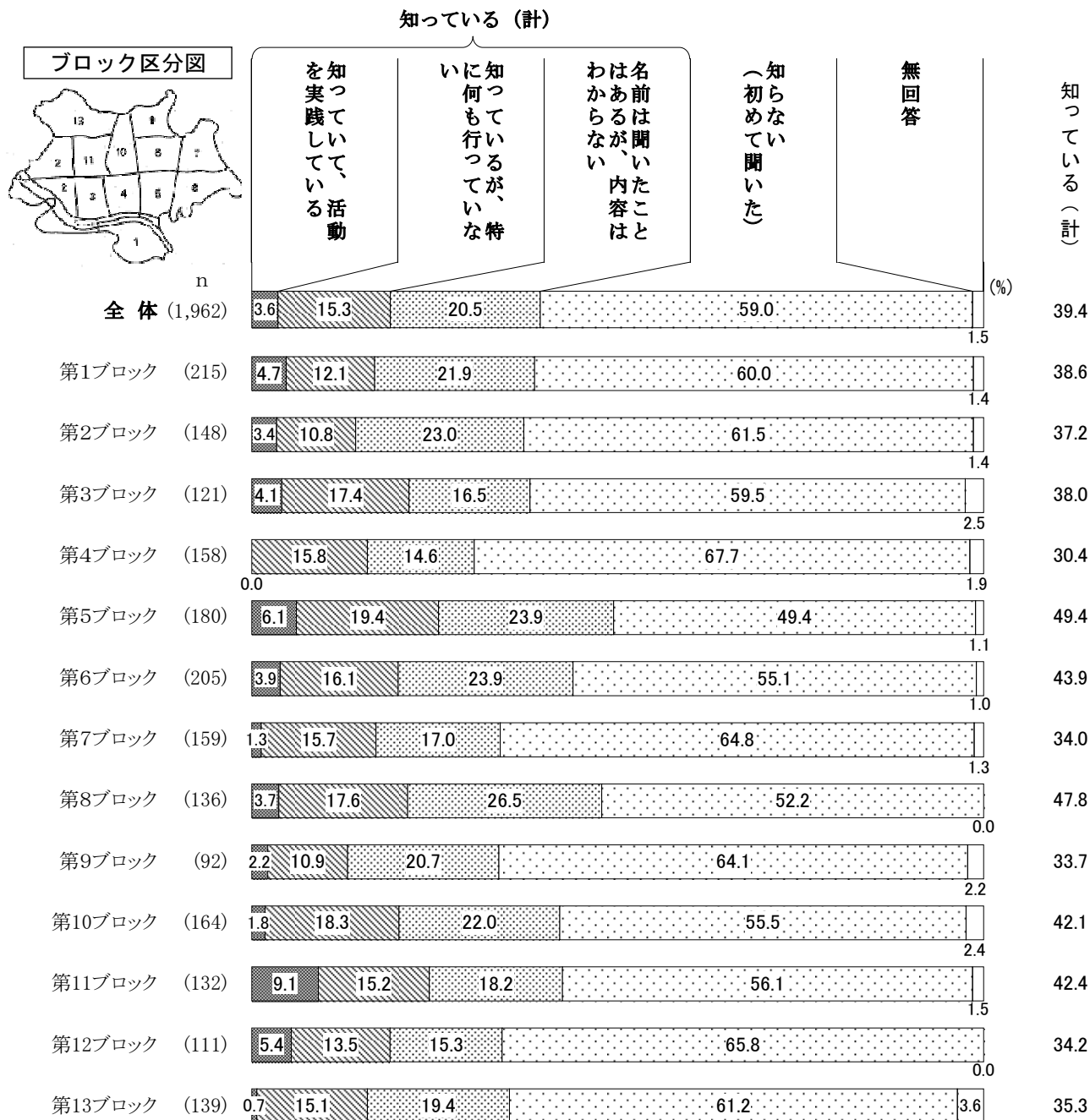
経年でみると、平成22年以降、【知っている】は増加傾向にある。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別でみると、第5ブロック、第8ブロックでは【知っている】が、それぞれ49.4%、47.8%と5割近くを占めて、他のブロックに比べて高くなっている。また、第11ブロックでは「知っていて、活動を実践している」が9.1%と、全ブロック中最も高くなっている。

足立区の中心部、駅周辺から離れた地域ブロックほど認知状況が低い傾向にある。

図5-1-2 地域ブロック別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



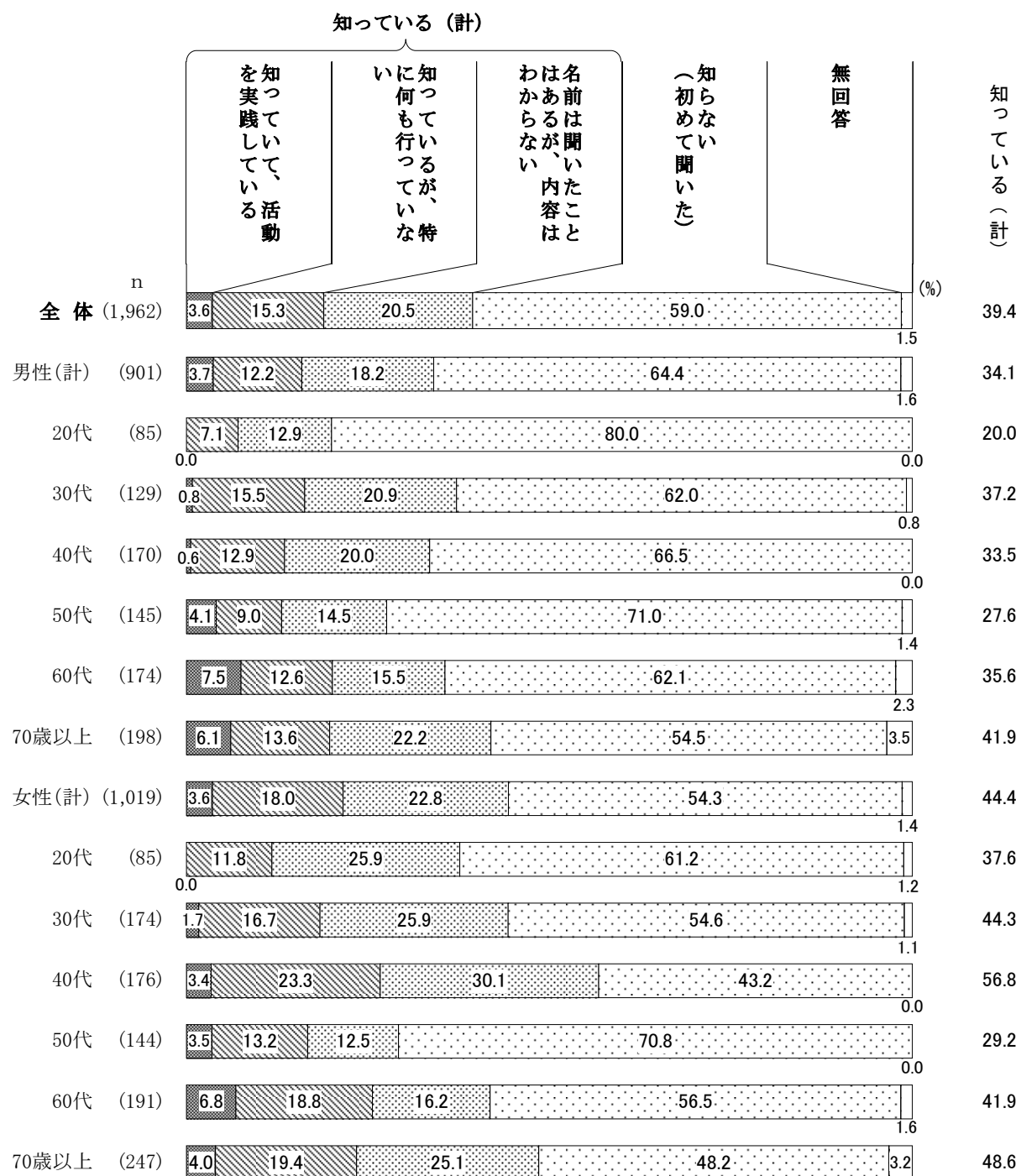
性別で見ると、【知っている】は男性34.1%、女性44.4%と、男性より女性が10.3ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、男性では、30代、70歳以上で【知っている】が、それぞれ37.2%、41.9%と、他の年代より高くなっている。60代、70歳以上では「知っていて、活動を実践している」が、それぞれ7.5%、6.1%と高くなっている。

女性では、40代で【知っている】が56.8%と男女全年代を通じて最も高くなっている。60代では「知っていて、活動を実践している」が6.8%と他の年代よりやや高くなっている。

「知らない」は20代男性で80.0%と最も高くなっている。

図5-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



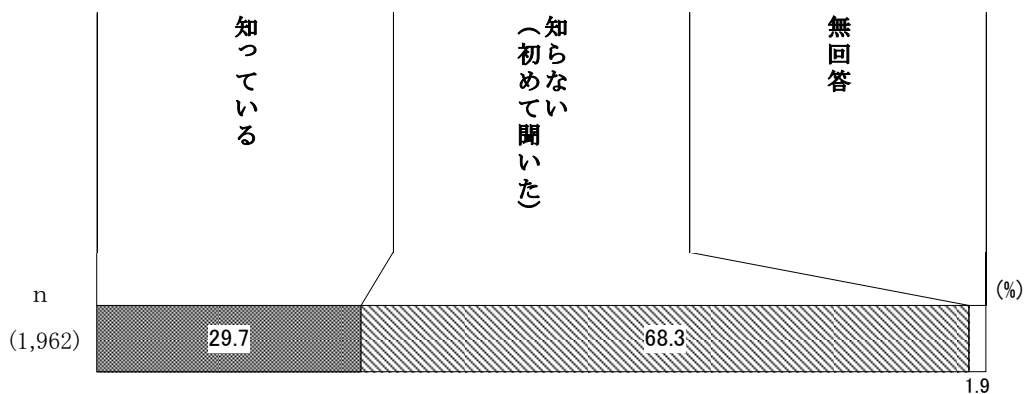
(2) 平成24年の区内刑法犯認知件数が1万件を下回ったことの認知

■ 「知っている」は3割

問20 あなたは、平成24年の足立区内の刑法犯認知件数(※)が、都内ワーストを脱却し、37年ぶりに1万件を下回ったことを知っていますか。(○は1つだけ)

※ 警察が犯罪について、被害の届出等によりその発生を確認した件数。ただし、交通違反等を除きます。

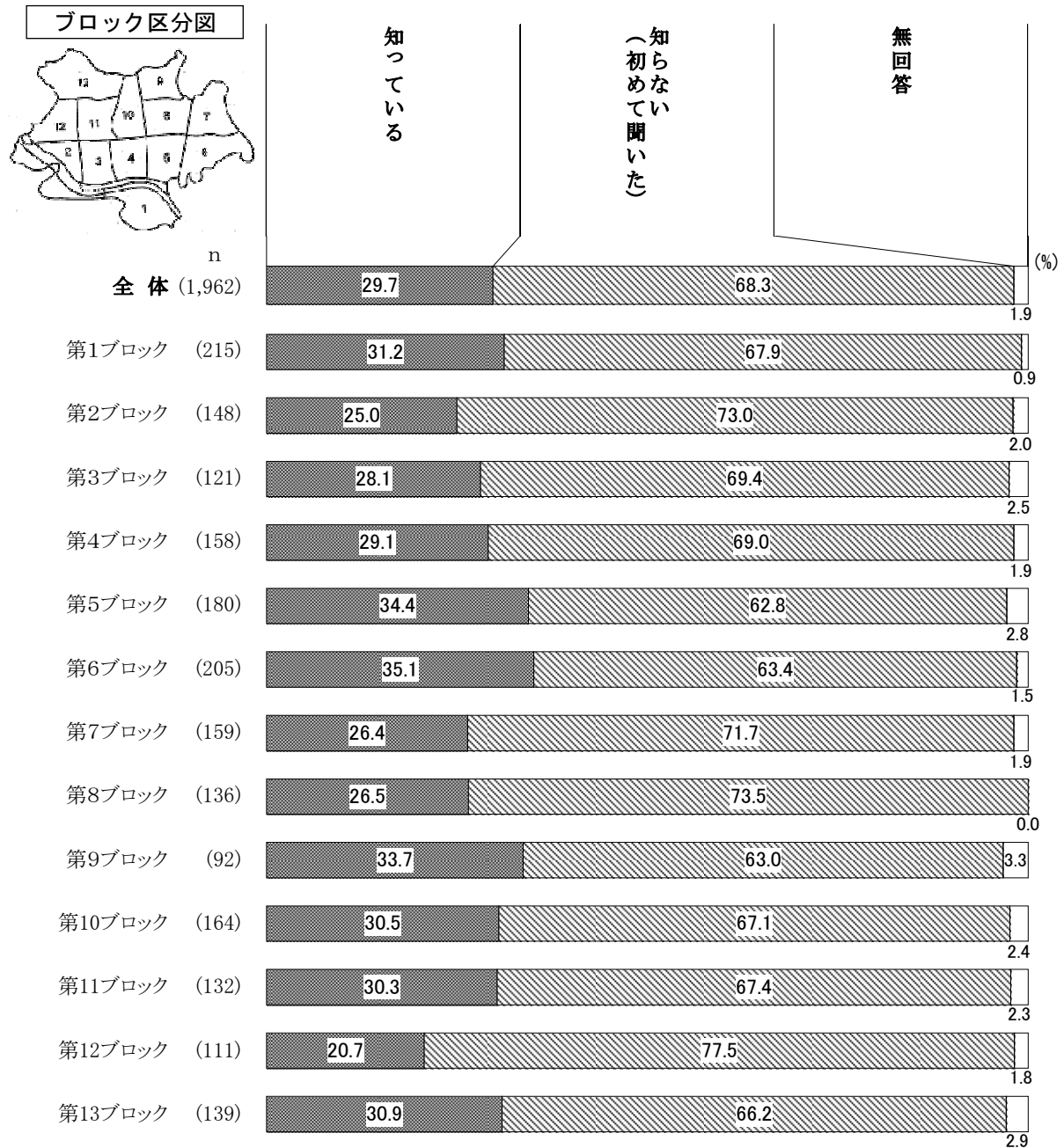
図5-2-1 平成24年の区内刑法犯認知件数が1万件を下回ったことの認知



足立区内の刑法犯認知件数が37年ぶりに1万件を下回ったことを「知っている」は29.7%である。一方、「知らない」は68.3%となっている。

地域ブロック別で見ると、第5ブロック、第6ブロックでは、「知っている」が、それぞれ34.4%、35.1%と、他のブロックより高くなっている。一方、第12ブロックでは、「知っている」は20.7%と全ブロック中最も低くなっている。

図5-2-2 地域ブロック別／平成24年の区内刑法犯認知件数が1万件を下回ったことの認知



第3章 調査結果の分析

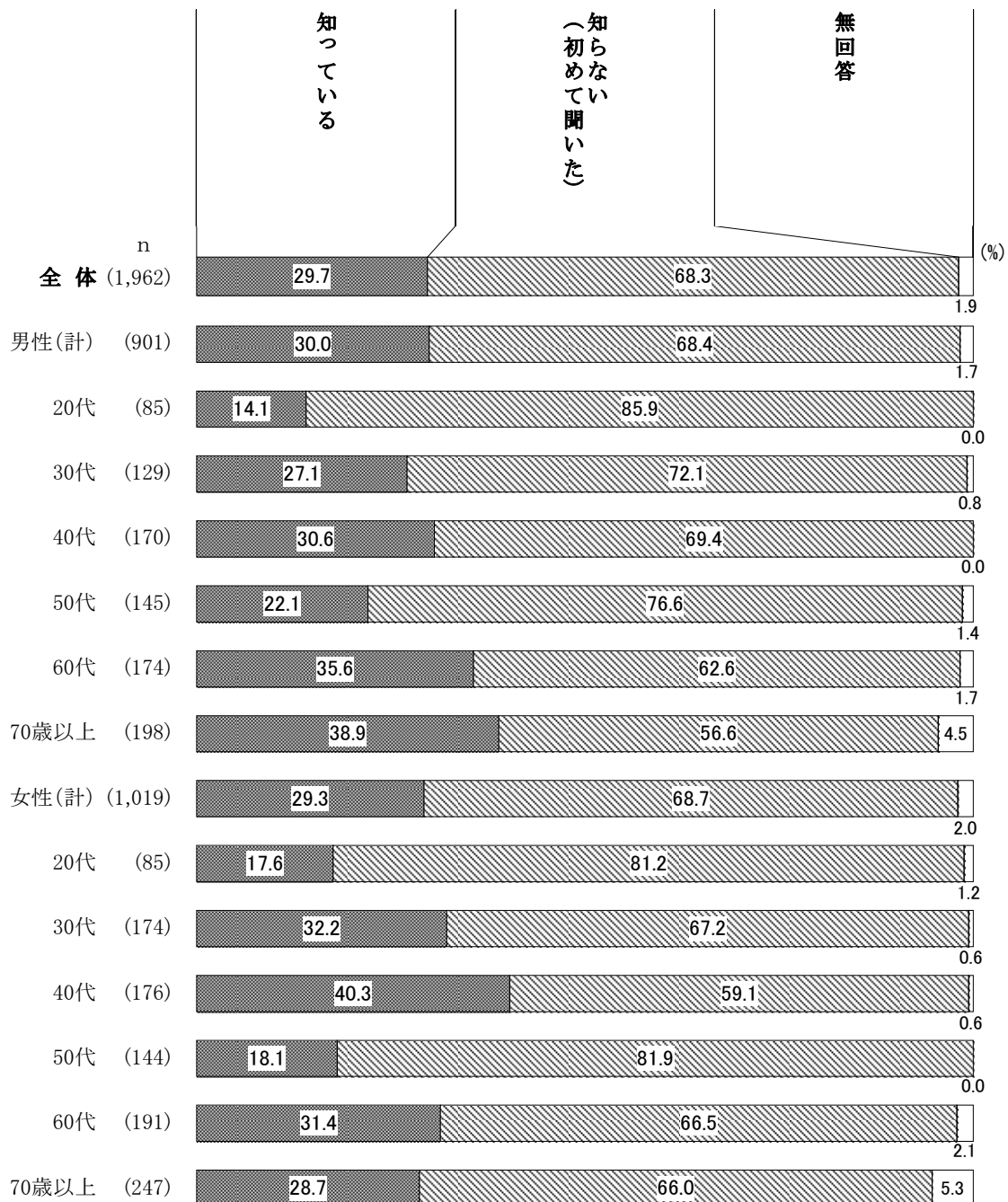
性別で見ると、「知っている」は男性30.0%、女性29.3%となっている。

性・年代別で見ると、男性では、60代、70歳以上で「知っている」が、それぞれ35.6%、38.9%と他の年代より高くなっている。

女性では、40代で「知っている」が40.3%を占めているほか、30代、60代、70歳以上でも3割前後となっている。

「知らない」は男性20代、女性20代・50代で8割を超え高くなっている。

図5-2-3 性別、性・年代別／平成24年の区内刑法犯認知件数が1万件を下回ったことの認知



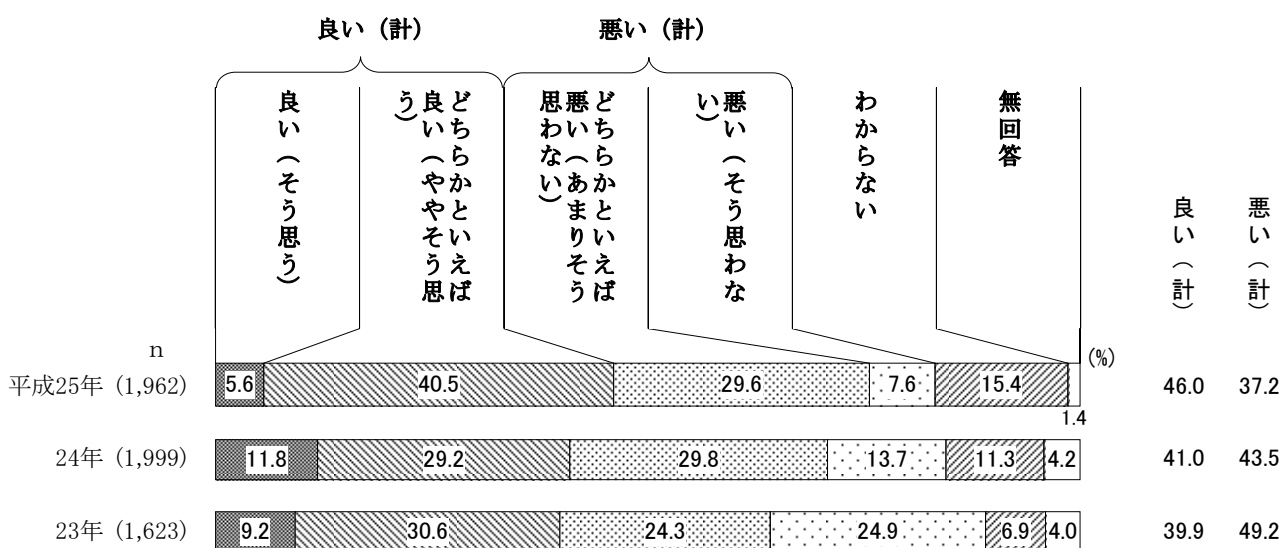
(3) 居住地域の治安状況

■ 前回調査から転じて、【良い】と感じている人の方が多く、4割台半ば。初めて【良い】が【悪い】を上回った。

問21 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか。
（○は1つだけ）

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図5-3-1 経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い (そう思う)」が5.6%で、これに「どちらかといえば良い (ややそう思う)」の40.5%を合わせた【良い】は46.0%である。一方、「どちらかといえば悪い (あまりそう思わない) (29.6%) と「悪い (そう思わない)」(7.6%) を合わせた【悪い】は37.2%となっている。

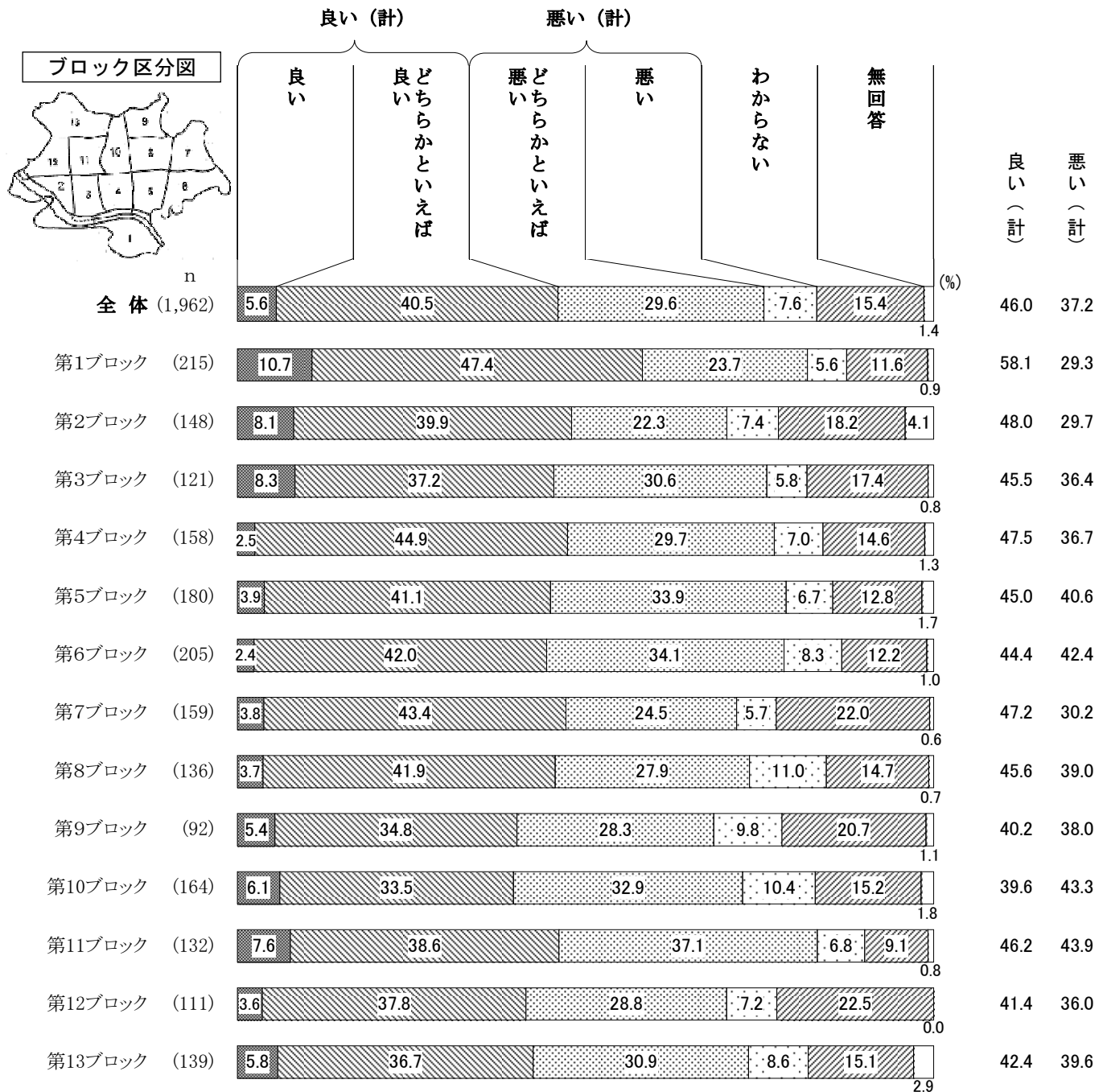
経年でみると、今回調査では【良い】が46.0%と、前回調査の41.0%より5.0ポイント増加している。

治安状況については、平成23年から調査方法を変更したため、数値の単純な比較はできないが、平成13年の調査開始以来、初めて【良い】が【悪い】を上回った。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、【良い】は第1ブロックで58.1%と最も高く、以下第2ブロック(48.0%)、第4ブロック(47.5%)の順となっている。一方、第5ブロック、第6ブロック、第10ブロック、第11ブロックでは【悪い】が、いずれも4割を超えている。

図5-3-2 地域ブロック別/居住地域の治安状況

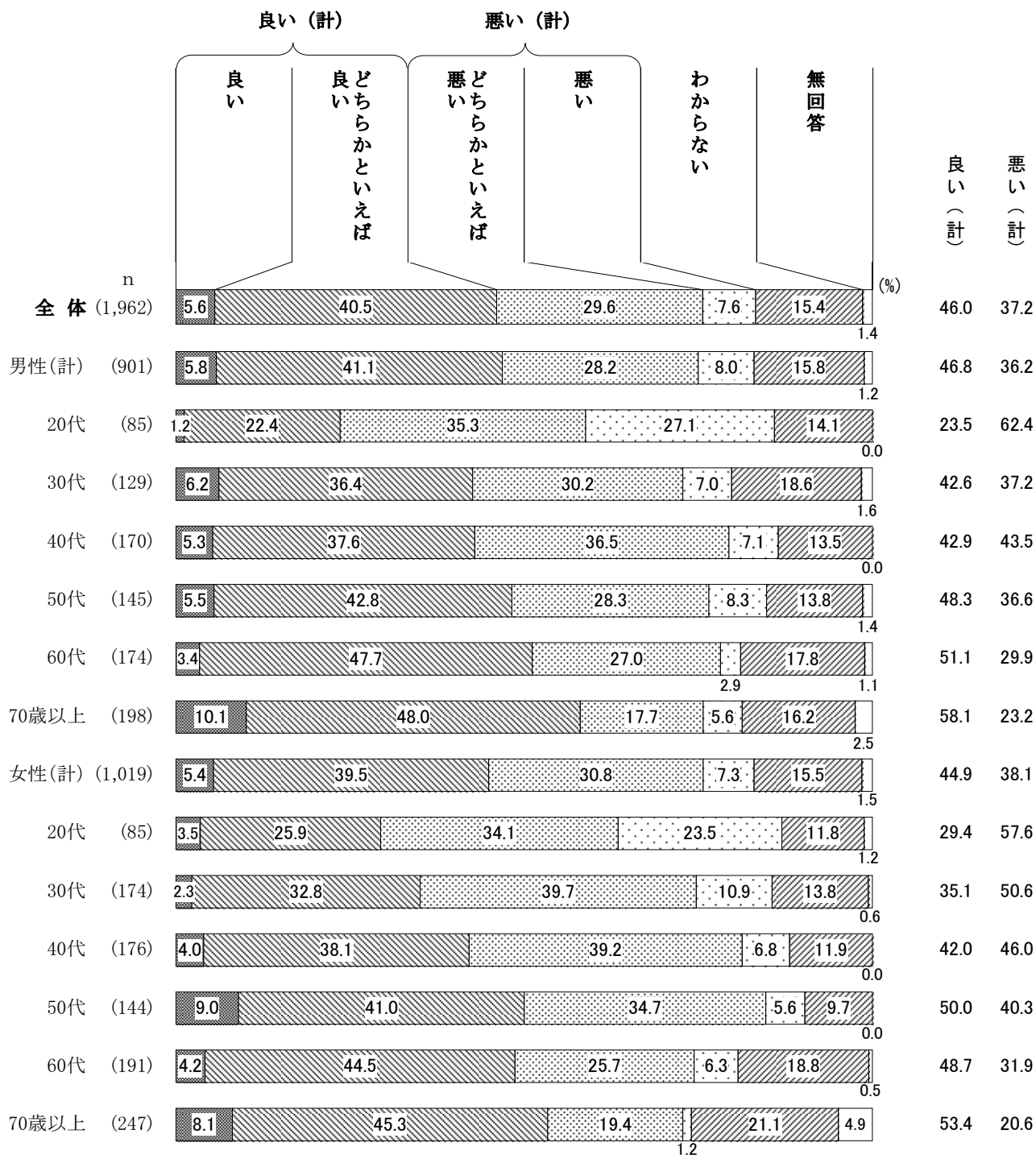


性別でみると、【良い】は男性46.8%、女性44.9%となっている。

性・年代別でみると、男性では、20代で【悪い】との評価が62.4%と際立って高くなっている。30代以降は、加齢とともに【良い】との評価が増加し、70歳以上では58.1%となっている。

女性でも、20代では【悪い】が57.6%と6割近くを占めている。50代から70歳以上になると、【良い】との評価が5割前後を占めている。

図5-3-3 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



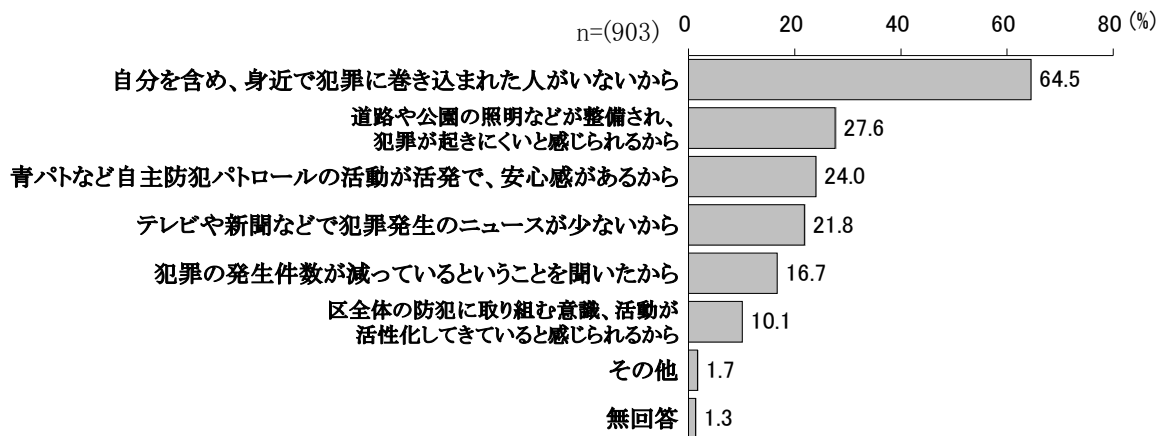
(4) 区内の治安が良いと感じる点

■ “犯罪に巻き込まれた人がいないから”が6割台半ばで、特に多くなっている

問21で「1. 良い」、または「2. どちらかといえば良い」とお答えの方に

問21-1 どのような点で区内の治安が良いと感じますか。(〇は2つまで)

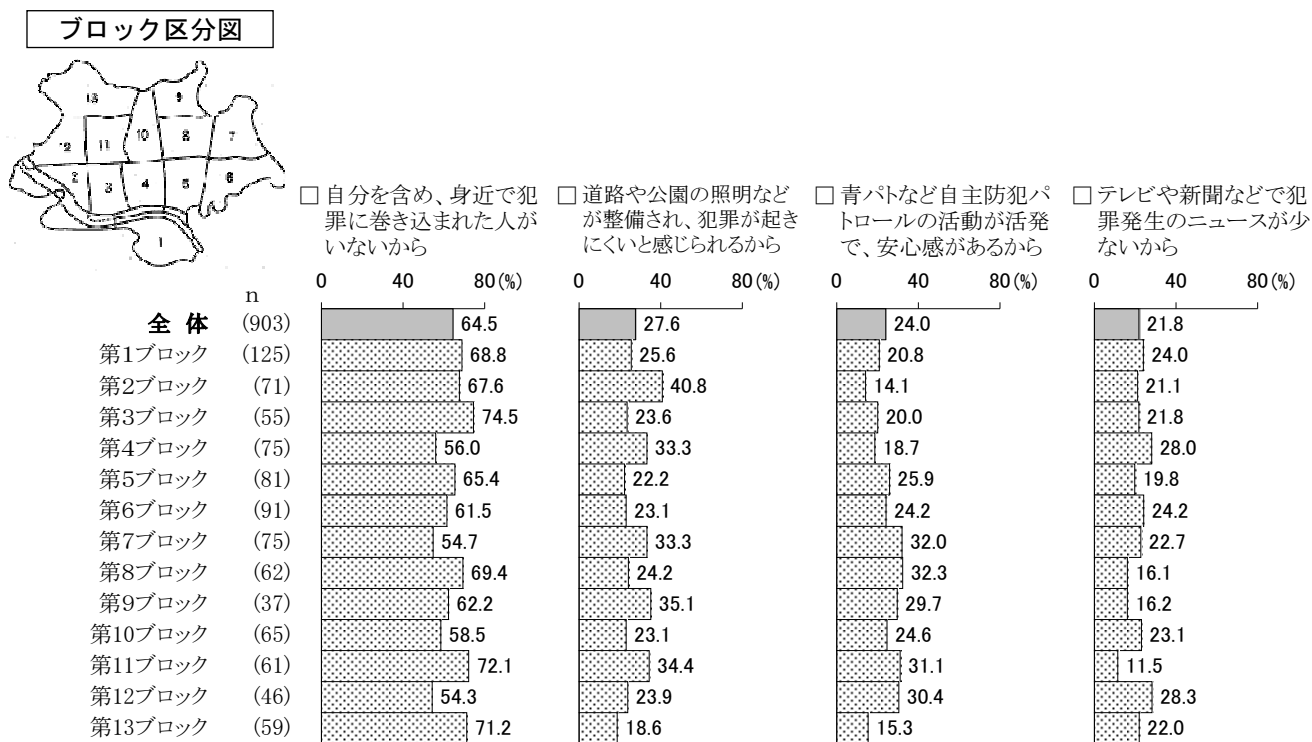
図5-4-1 区内の治安が良いと感じる点



【良い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が64.5%で最も高く、以下「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」(27.6%)、「青パトなど自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」(24.0%)の順となっている。

地域ブロック別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は、第3ブロック、第11ブロックで、それぞれ74.5%、72.1%と高くなっている。また、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」は、第2ブロックで40.8%と最も高くなっている。「青パトなど自主防犯パトロール活動が活発で、安心感があるから」は、第7ブロック、第8ブロック、第11ブロック、第12ブロックで3割を超え、他のブロックより高くなっている。

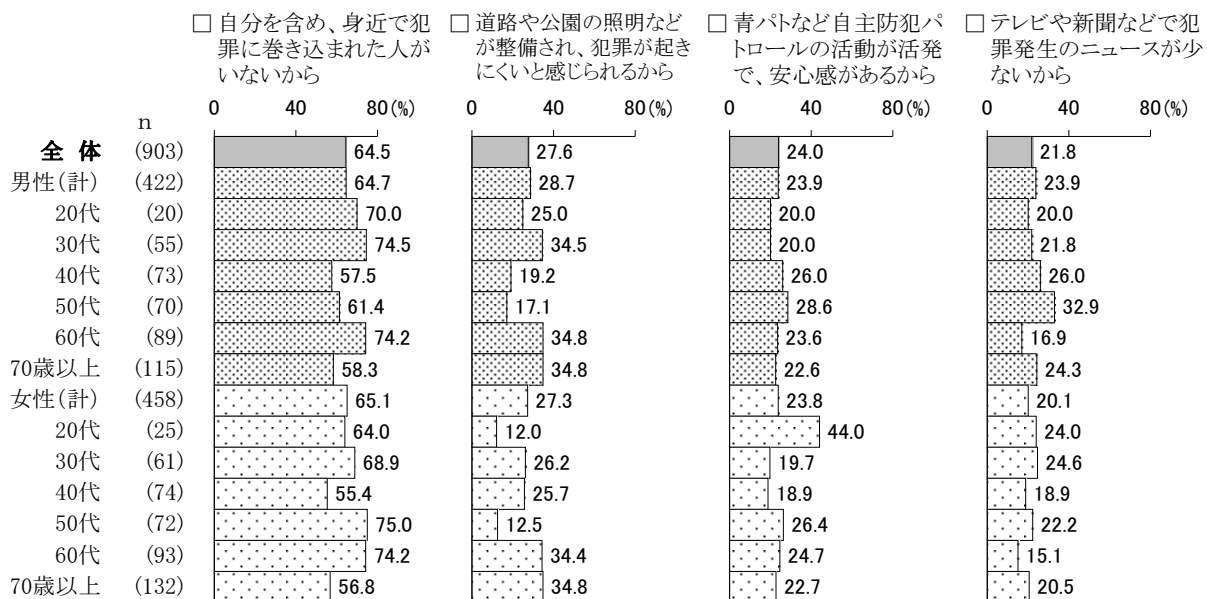
図5-4-2 地域ブロック別／区内の治安が良いと感じる点／上位4項目



性別でみると、特に大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は男性の30代、60代、女性の50代、60代で7割台半ばと高くなっている。

図5-4-3 性別、性・年代別／区内の治安が良いと感じる点／上位4項目

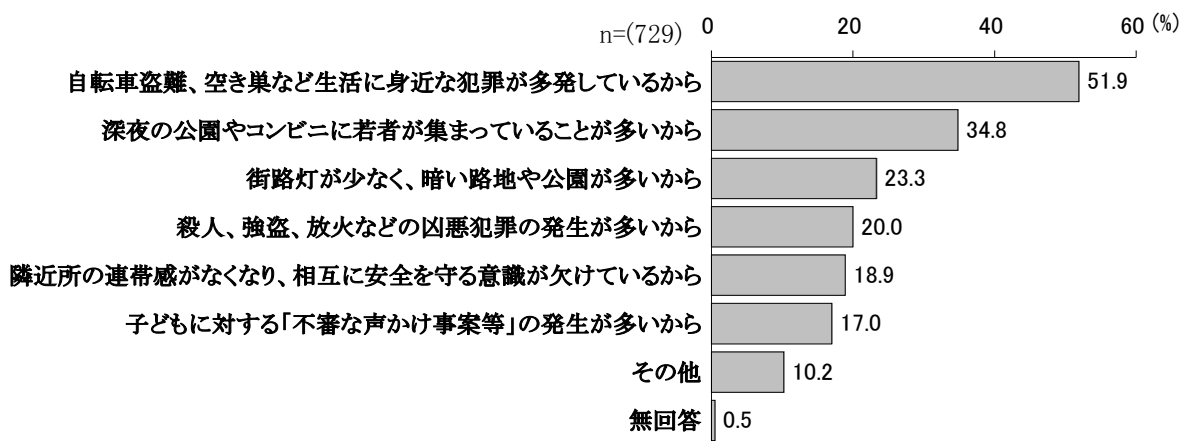


(5) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発しているから”が半数を超える

問21で「3. どちらかといえば悪い」、または「4. 悪い」とお答えの方に
 問21-2 どのような点で区内の治安が悪いと感じますか。(〇は2つまで)

図5-5-1 区内の治安が悪いと感じる点

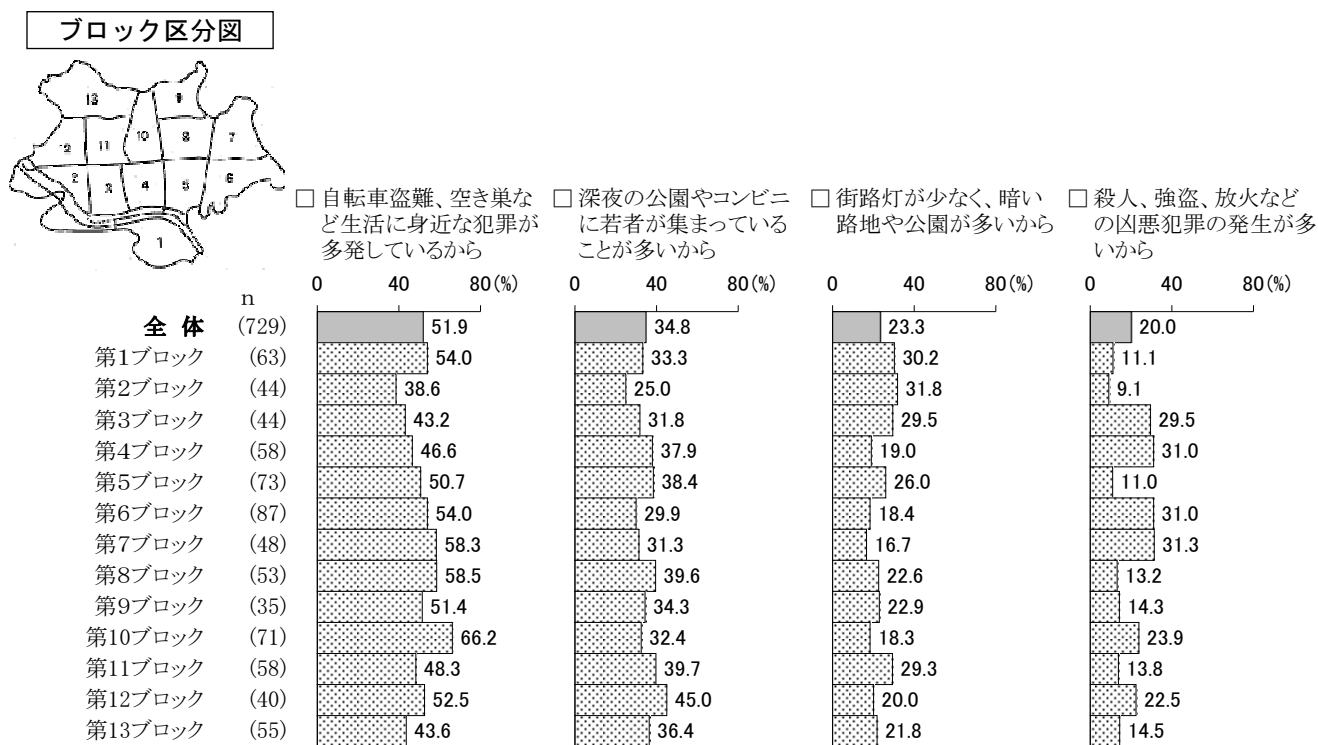


【悪い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」が51.9%で最も高く、以下「深夜の公園やコンビニに若者が集まっていることが多いから」(34.8%)、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」(23.3%)の順となっている。

地域ブロック別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」は、第10ブロックで66.2%と全ブロック中最も高くなっているほか、第1ブロック、第5ブロックから第9ブロック、第12ブロックでも5割を超えている。「深夜の公園やコンビニに若者が集まっていることが多いから」については、第12ブロックで45.0%と最も高くなっているほか、第5ブロック、第8ブロック、第11ブロックでも4割近くを占めている。

また「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は、第1ブロック、第2ブロック、第3ブロック、第11ブロックで3割前後と、他のブロックより高くなっている。「殺人、強盗、放火など凶悪犯罪の発生が多いから」については、第3ブロック、第4ブロック、第6ブロック、第7ブロックで3割前後を占め、他のブロックより高くなっている。

図5-5-2 地域ブロック別／区内の治安が悪いと感じる点／上位4項目

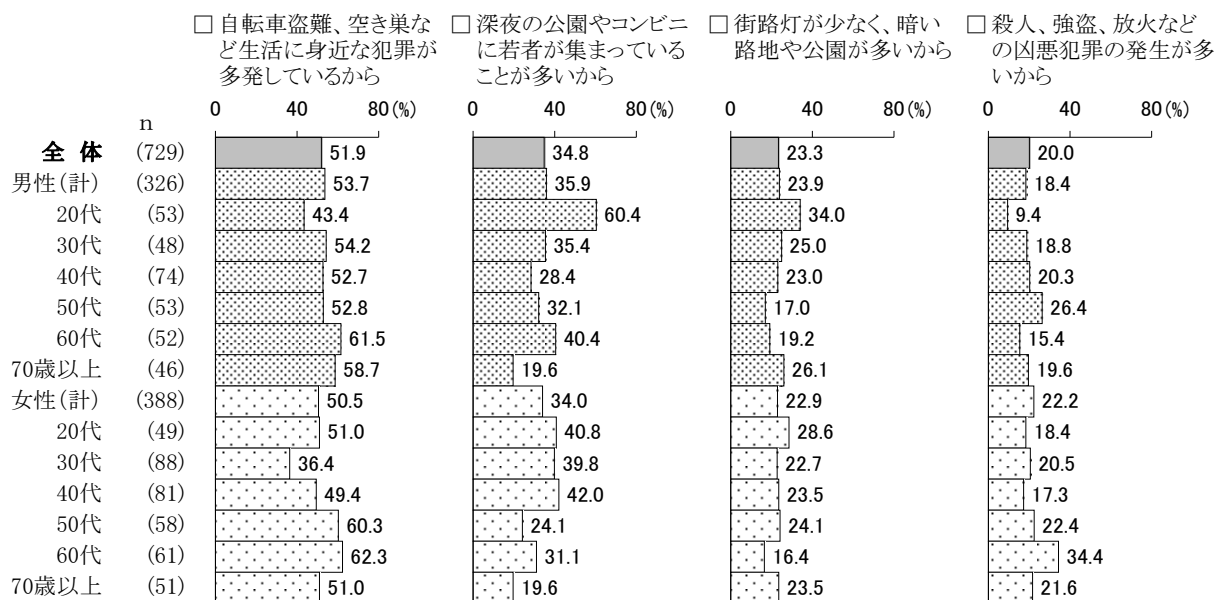


性別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」では、男性53.7%、女性50.5%で男性の方が3.2ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」は、男性の60代以上、女性の50代、60代で6割前後と高くなっている。

また、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっていることが多いから」については、男性の20代で60.4%となっており、全年代のなかで最も高くなっている。

図5-5-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点／上位4項目

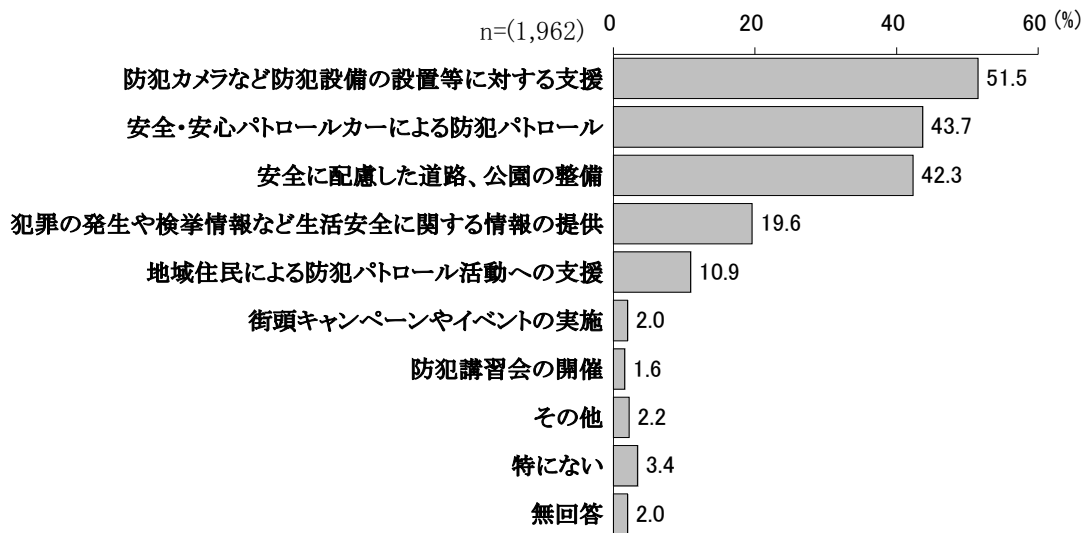


(6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

■ “防犯設備の設置等に対する支援”が半数を超え、“防犯パトロール”“安全に配慮した道路、公園の整備”が4割台

問22 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか。(〇は2つまで)

図5-6-1 治安対策として区に力を入れてほしいこと

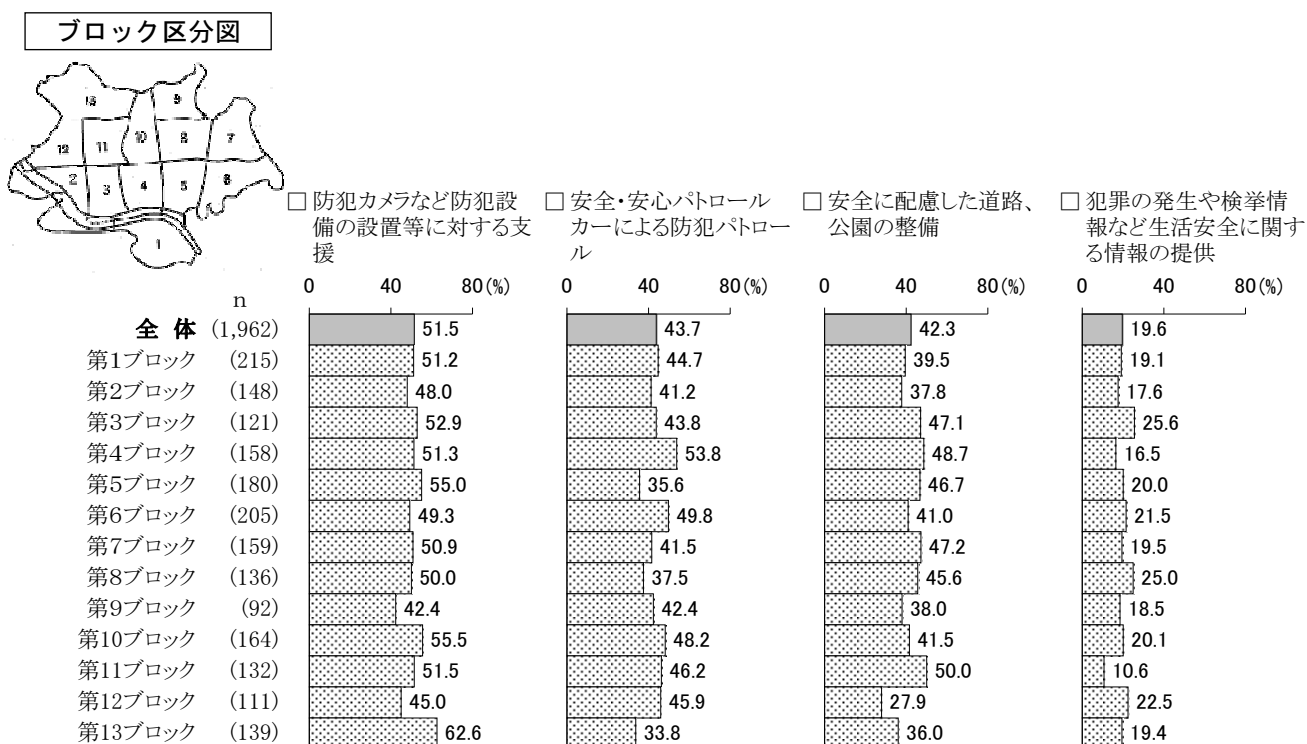


治安対策として足立区に力を入れてほしいことは、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」が51.5%で最も高く、以下「安全・安心パトロールカーによる防犯パトロール」(43.7%)、「安全に配慮した道路、公園の整備」(42.3%)の順となっている。

地域ブロック別で見ると、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」は、第13ブロックで62.6%と最も高くなっているほか、第5ブロック、第10ブロックでも5割台半ばとなっている。「安全・安心パトロールカーによる防犯パトロール」は、第4ブロックで53.8%と最も高くなっているほか、第6ブロック、第10ブロックでも5割近くを占めている。

また、「安全に配慮した道路、公園の整備」は第11ブロックで、50.0%と最も高くなっている。一方、第12ブロックでは27.9%と最も低く、地域ブロック別差は、最大22.1ポイントであった。

図5-6-2 地域ブロック別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



第3章 調査結果の分析

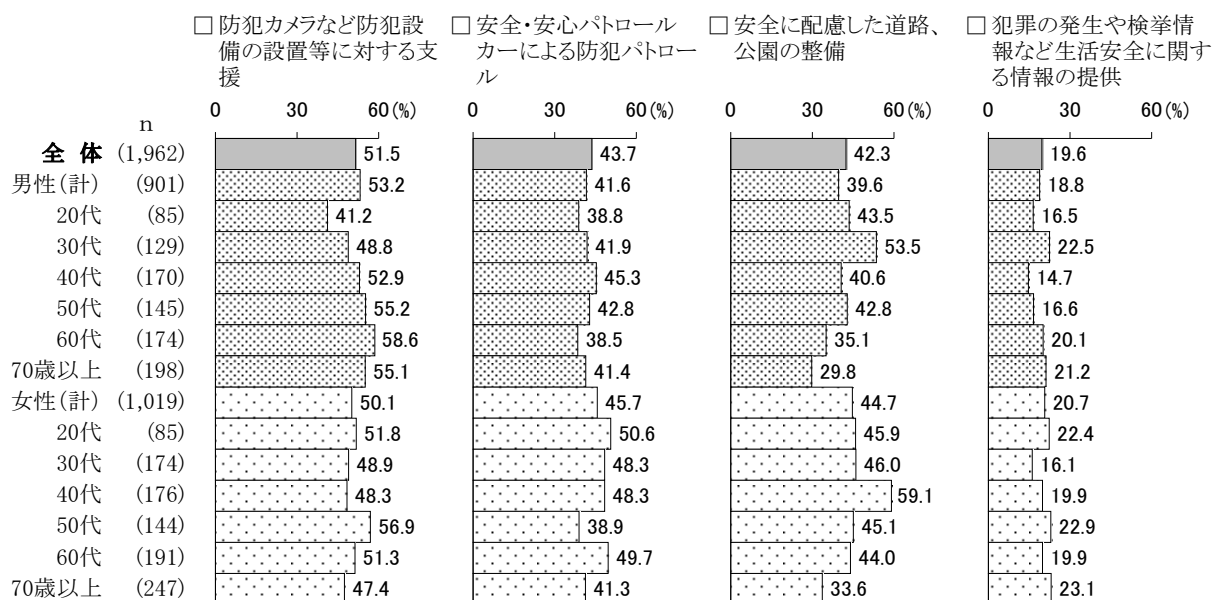
性別でみると、「安全・安心パトロールカーによる防犯パトロール」は男性41.6%、女性45.7%、「安全に配慮した道路、公園の整備」は男性39.6%、女性44.7%、「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」は男性18.8%、女性20.7%と男性より女性が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」は、加齢とともに増加する傾向がある。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、30代で53.5%と最も高くなっている。

女性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」が50代で56.9%と他の年代より高くなっている。「安全・安心パトロールカーによる防犯パトロール」は、20代から40代、60代で5割前後と高くなっている。

また、「安全に配慮した道路、公園の整備」は、40代で59.1%と6割近くを占めて最も高くなっている。

図5-6-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目

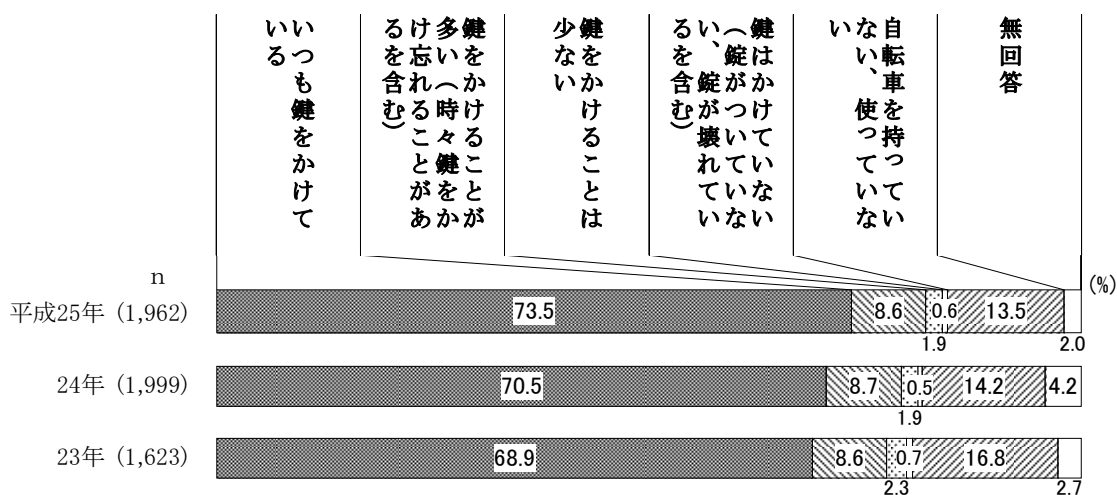


(7) 駐輪時の鍵かけ状況

■ 「いつも鍵をかけている」が7割を超え、増加傾向を示す

問23 あなたは、自転車を駐車したときには、自転車に鍵をかけていますか。
 (○は1つだけ)

図5-7-1 経年比較/駐輪時の鍵かけ状況



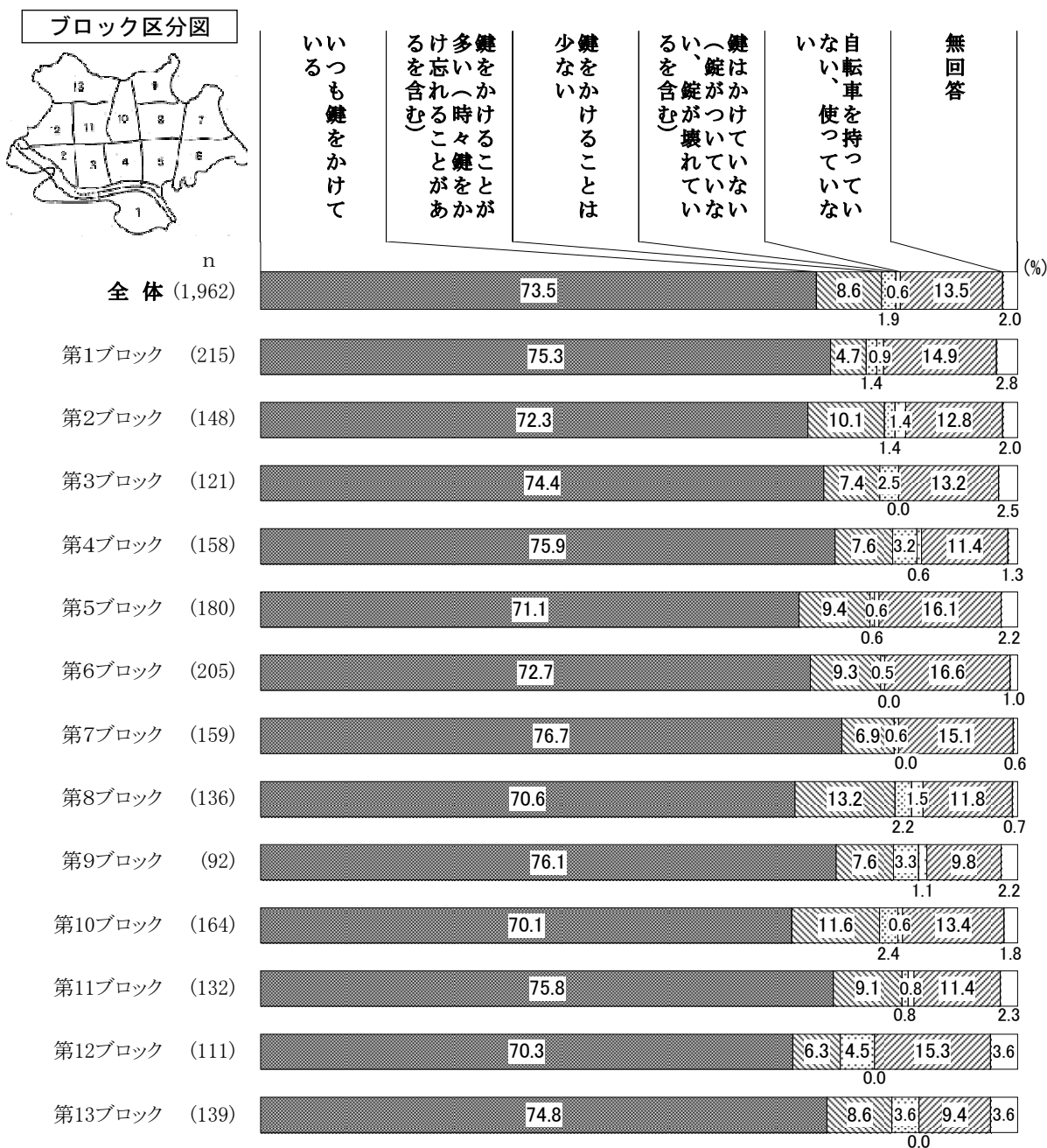
自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについては「いつも鍵をかけている」が73.5%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い」(8.6%)となっている。一方、「鍵をかけることは少ない」は1.9%、「鍵はかけていない(錠がついていない、錠が壊れているを含む)」は0.6%となっている。

経年でみると、「いつも鍵をかけている」は、平成23年以降、増加傾向にある。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、いずれのブロックでも、「いつも鍵をかけている」が7割を超えている。

図5-7-2 地域ブロック別/駐輪時の鍵かけ状況



性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性77.0%、女性70.7%と男性が女性より高くなっている。

性・年代別でみると、70歳以上の女性を除くと、男女各年代とも「いつも鍵をかけている」が7割以上と高くなっている。

図5-7-3 性別、性・年代別／駐輪時の鍵かけ状況

